

# 誰もが安心して暮らせる優しいまち

## 事前防災の徹底・上下水道の強靱化

- 新たな防災マップの作成 ▶ 29,963 千円  
和歌山県が南海トラフ地震の想定を見直し、新たな津波浸水想定区域を公表する予定のため、本市の防災マップを新たな想定に更新
- 紀の川横断部の送水管複線化 ▶ 248,523 千円、664,182 千円（2月補正）  
紀の川北部地域への水道水の安定供給に向けて紀の川横断部の送水管複線化に取り組む。工事期間：令和7年度～令和9年度
- 配水管の整備 ▶ 3,423,926 千円、191,075 千円（2月補正）  
老朽化した配水管の更新を進め耐震化を図るとともに、各水系間を結ぶ相互連絡管を整備することで、水道水の安定供給の確保、防災対策の強化を図る
- 特別重点調査等による下水道管路の改築 ▶ 705,000 千円、141,750 千円（2月補正）  
下水道管路特別重点調査等の結果に基づき、口径 2m 以上かつ布設から 30 年以上経過などの下水道管路の集中的な改築を実施し、老朽化対策を推進



## 快適な生活環境の確保

- 生活関連道路の保全 ▶ 1,550,218 千円、30,000 千円（2月補正）  
災害の発生を未然に防ぎ、安全で快適な道路環境を確保するための舗装修繕等の実施を大幅に拡充し、併せて交通事故を未然に防止するための交通安全施設の新設、補修等を実施



## 人生 100 年時代に向けた健康づくり

- 高血圧ゼロのまちの推進 ▶ 1,369 千円  
生活習慣の改善による高血圧の予防および重症化防止に向けて、市有施設への血圧計の設置や高血圧予防イベントの開催等を実施
- 定期予防接種の推進  
・ RS ウイルスワクチン接種の開始 ▶ 56,547 千円  
・ 高用量インフルエンザワクチン接種の開始 ▶ 76,335 千円



## 地域で支え合う支援体制、高齢者等の生活安心サポート

- 地域コミュニティづくりへの支援強化 ▶ 4,853 千円  
地域社会に参加する機会を確保し、地域でのつながりづくりや支え合いを推進。年齢の垣根をなくし、地域の誰もが交流できる仕組みへ
- 高齢者に対する外出支援  
・ 元気 70 パス ▶ 105,960 千円  
70 歳以上の高齢者に、市内路線バスを 1 回 100 円で乗車できるバスカード、もしくは市営 5 か所で割引になる駐車場利用券のいずれかと公衆浴場利用回数券を交付  
・ 和歌山電鐵 70 おでかけ回数券 ▶ 3,817 千円  
70 歳以上の高齢者に利用区間に関係なく利用できる 10 枚綴りの回数券を 1,000 円で販売

令和 8 年度

主な事業

# 当初予算のポイント

地方創生に向けたこれまでの取組を着実に前へと進めながら、子育てをはじめとする福祉や生活関連の予算を重点化し、住みたいと選ばれるまちへ

## 子供たちがいきいきと育つまち

### 子育て世帯への経済的支援の充実

- 物価高騰に関する追加支援  
・ 和歌山市版子育て応援手当 ▶ 618,428 千円（2月補正）  
・ 園児等への給食費支援 ▶ 293,097 千円（2月補正）
- 給食費の無償化  
・ 小学校給食費の無償化 ▶ 964,546 千円  
・ 中学校給食費の無償化 ▶ 518,566 千円  
全員給食の開始とともに、子育て世帯への経済的支援のために市立中学校および義務教育学校（後期課程）の給食費を無償化

### 切れ目のない包括的支援・仕事と子育ての両立支援強化

- 産後ケア事業の充実 ▶ 17,618 千円  
産科医療機関等での宿泊や通所、助産師等による訪問により、心身のケアや育児相談等きめ細かな支援を実施
- こども未来ギフトの充実 ▶ 14,818 千円  
本市で誕生したすべてのこどもたちの健やかな成長を願い、木育、食育、読育、眠育に関するお祝いギフトを贈呈
- こども誰でも通園制度の本格実施 ▶ 141,104 千円  
就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる、こども誰でも通園制度を実施することで、子育て家庭に対して様々な働き方やライフスタイルに寄り添う支援を強化し、乳幼児の福祉向上を図る



### 環境の整備、学力の育成、学校給食・食育の充実

- 小学校体育館空調整備 ▶ 1,705,099 千円（2月補正）  
災害時には避難所としての役割も担う小学校体育館の空調整備を加速化し、安全・安心な教育環境づくりを推進
- 児童・生徒用タブレット端末の更新 ▶ 1,433,465 千円  
令和 2 年度に導入したタブレット端末の更新を実施し、一人ひとりの理解度に合わせた学習や友達と意見を交わす活動をよりスムーズに行える環境を整えることで、自ら考え、深く学ぶ力を育む
- 中学校全員給食の実施 ▶ 426,766 千円  
成長期にあるすべての生徒に栄養バランスのとれた温かい給食を提供するため、令和 8 年 4 月から市立中学校において全員給食化
- オーガニック給食の推進 ▶ 5,298 千円  
・ 小学校オーガニック給食  
・ 中学校オーガニック給食



オーガニック給食

### 公営企業会計予算

483億4,535万6千円

前年度比 14.4% 増

### 予算合計

3,101億4,647万8千円

前年度比 3.6% 増

### 一般会計予算

1,657億6,894万5千円

前年度比 3.4% 増

### 特別会計予算

960億3,217万7千円

前年度比 0.6% 減

## 県都として活力にあふれたまち

### 和歌山城の更なる魅力向上

- 扇の芝等の城内整備 ▶ 133,618千円  
扇の芝の段階的整備工事、石垣保護工事（南面）、石垣保護設計（北面）や樹木の管理などの整備を進めるとともに、今後に向けた保存活用計画を策定
- 和歌山城公園動物園クマ園舎の改修 ▶ 55,044千円（2月補正）  
クラウドファンディング等の寄附金を活用し、クマ園舎を美しく安全にリニューアル



扇の芝（イメージ図）

### 歩きたくなるまちなかの整備・地域で結ぶ豊かな暮らし

- 市道【北ぶらくり丁線】の整備  
商店街活性化を目指し主体的に活動を続け、アーケードを撤去することを決めた北ぶらくり丁商店街において、ワークショップや社会実験から出た商店街等の意見も取り入れた道路詳細設計を実施
- 第6ブロックコミュニティセンターの整備 ▶ 21,700千円（2月補正）  
鳴呼児童館、文化会館および地区集会所を集約し、防災拠点としても活用可能な複合機能を有するコミュニティセンターとして整備するため、実施設計を行う
- 紀伊駅前広場の整備 ▶ 11,200千円  
利用者が安全・安心に利用できるよう、バスベイやタクシー、一般車に対する乗降所を有した駅前広場を整備



第6ブロックコミュニティセンター（イメージ図）



紀伊駅前広場（イメージ図）

## ふるさとで学び働けるまち

### 産業を支える人材の育成・産業の活性化

- 奨学金返還支援の拡充 ▶ 646千円  
奨学金の貸与を受けている学生が、卒業後に市内の企業に就職し3年間定着した場合、奨学金の返還を支援。令和8年度からは、対象業種・奨学金の充実や募集期間の延長など、制度を拡充
- 所得向上補助金 ▶ 20,000千円  
市内企業の生産性向上や従業員の所得向上を促進するため、賃上げ方針を表明する企業の設備投資の一部を補助。補助率：5%（1%以上の賃上げを表明した場合）、10%（3%以上の賃上げを表明した場合）

### 更なる発展の基盤となる道路網

- 和歌山北ICのフルIC化に係る取組 ▶ 1,000千円  
更なる物流の活性化および企業誘致の促進を図るとともに、防災機能の強化および大型車の交通転換による交通事故削減を図るため、フルIC化に向けた検討・協議を進める
- 都市計画道路の整備 ▶ 256,253千円、130,000千円（2月補正）  
都市計画道路のうち、重点整備区間道路の整備を促進し、道路ネットワークの構築を図る。令和8年度は今福神前線、有本中島線



今福神前線

### 歴史を生かしたプロモーション

- 豊臣家に関連する他城郭との連携 ▶ 749千円  
お城関連イベント出席時等に豊臣家に関連する他城郭との連携企画などを行い、来場者数の増加を図る
- 豊臣家と和歌山城の関連企画展示 ▶ 1,205千円  
築城者である豊臣家と和歌山城という切り口で和歌山城の魅力を発信。わかやま歴史館では秀長に関する企画展、天守閣では藤堂高虎に関するパネル展示を実施
- 豊臣秀吉・秀長兄弟ゆかりの地スタンプラリーキャンペーン ▶ 4,751千円  
市内の豊臣秀吉・秀長兄弟関連スポットの周遊を促すスタンプラリーを実施。また、市内宿泊施設および市外のゆかりの地域と連携し、本市への誘客を図る
- 太田城水攻め堤跡の整備・活用 ▶ 809千円  
太田城水攻め堤跡に通じる里道の整備等を行う。また、太田城ゆかりの史跡ウォークを実施
- 豊臣秀吉・秀長に関する企画展の開催 ▶ 1,770千円  
博物館において、「太田城水攻め」など豊臣秀吉・秀長兄弟の和歌山における事績を紹介する企画展を開催

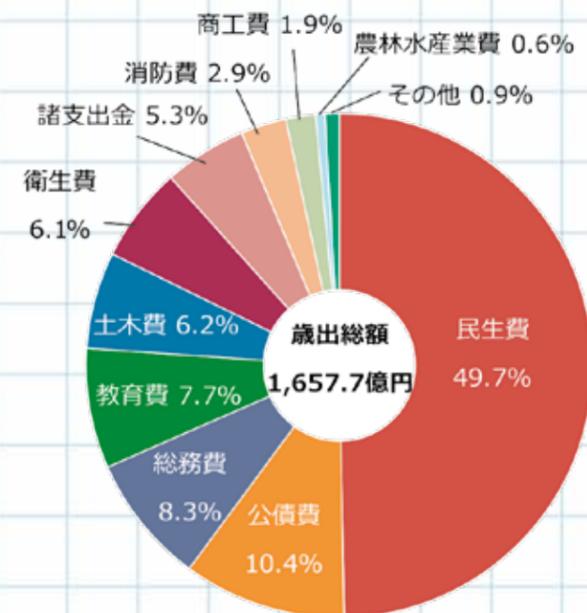


太田城水攻め堤跡



総光寺由来并太田城水攻め図（惣光寺所蔵）

## 一般会計 歳出(目的別)



## 一般会計 歳入

